



▲優勝した南北条公民館の皆さん

天国と地獄  
昨年までの「町会のキズナ (二人三脚・ムカデ競争)」に替わる新種目で、ジャンケン

天国と地獄

10月10日(祝・月) 地区運動会が梓川小学校の校庭で開催され、全12種目の熱戦が繰り広げられました。



が科せられてしまいます。ジャンケンに負けた人の悔しがる顔がとても印象的でした。

タルころがし

タルが右へ左へコースから外れてしまい苦戦する人や、2本の棒を巧みに操り、もの凄いいスピードで駆け抜けて行く人など、最後まで勝敗が分からない、楽しい種目になりました。

町会対抗リレー

毎年、一番の盛り上がりを見せる「町会対抗リレー」は、



どの町会も応援に熱が入っていました。選手たちは声援に応えようと必死に走ろうとするあまりに、途中で足がもつれて転倒してしまう人もいました。

本年度、優勝した南北条公民館長の西村さんは「南北条公民館は、参加選手の人数が少ない中で、今回初めて優勝することができ、嬉しい限りです。」と歓喜のコメントをいただきました。

競技結果

優勝	南北条公民館
準優勝	岩岡公民館
第3位	杏公民館
第4位	上野公民館
第5位	八景山公民館
第6位	こまち公民館

第32回 梓川文化祭、梓秋祭

美術展

11月2日(水)から6日(日)までの5日間、梓川アカデミア館では、日頃地区内で活躍する14グループによる230点の絵画・書道・写真・彫刻などの作品が展示され、延べ480人の観客が来場されました。

どの作品も表現豊かで、丹精を凝らした力作が揃い、見学に訪れた人たちは作品の魅力を堪能していました。



芸能祭・音楽祭

6日(日)は、梓川公民館と梓川老人福祉センターで、芸能祭、音楽祭と波田少年少女合唱団によるゲスト公演が行われました。芸能祭では、迫力



ある演奏やキラのあるダンスなどが披露され、音楽祭では、親しみ易く趣向を凝らした演出の中にも澄んだ歌声と迫力ある合唱が響き渡り、会場からは盛大な拍手が送られていました。  
また、波田少年少女合唱団によるゲスト公演では、総勢50人による迫力と美しさを兼ね備えた歌声が参加者の心に響き渡り、大きな拍手が沸き上がっていました。



# 梓川児童センター開館10周年!

10月4日(火)に梓川児童センターの開館10周年を記念して「10歳の誕生日おめでとう会」が行われ、児童センターの利用者約150人が参加しました。

代表児童によるメッセージでは、センターでの春夏秋冬の出来事や思い出を発表し、「これからもたくさんのお出を出を作っていきたい。」と話していました。

また、3年生6人による「ブレイメンの音楽隊」のパネルシアターの発表が行われ、参加者は真剣に聞き入っていました。



最後に、ピアノ、フルート、バイオリンの楽団「ルナ・レーネ」による記念演奏会が行われ、馴染みのある曲が演奏されると、参加した子どもたちは曲に合わせて大きな声で合唱し、楽しんでいました。



梓川児童センターは、平成19年の開館以来、延べ20万人が利用しています。田野口館長は「子どもたちが仲良く、ルールを守り、安心・安全に利用ができる児童センターをこれからも目指していきたい。」と話していました。先生方の熱意溢れる指導により、梓川の子どもの健全な育成の場として、多くの方々にも親しまれています。

## 歌ごえ公民館



「歌ごえ公民館」は、小松規美子先生(八景山)が講師を務め、体操や発声練習を行った後に、童謡を中心とした曲を毎回16曲歌います。歌の合間には、小松先生が歌にまつわる逸話や面白い話を語り、参加者は笑ったり、うなずいたりして興味深そうに聞いていました。参加者に感想を聞くとい「歌は得意ではないが、この会に参加すると次の日からまた元気に過ごすごができます。」と話していました。



# ★梓川東西保育園運動会★

10月1日(土)に梓川東西保育園の各園庭で運動会が行われました。秋雨前線の影響で途中から雨が降り出し、延期になってしまった種目もありましたが、最後まで悪天候に負けない、明るく楽しい雰囲気での運動会が開催されました。



梓川東西保育園の「TAKUUMA☆ヒーロー」みんなが英雄」では、保護者の方々が心配そうに見つめる中、5歳児が竹馬に乗り、段差のある台を通過したり、ぐるっと回転して後ろ向きに進んだり、日頃一生懸命練習してきた成果を発揮していました。

「歌ごえ公民館」は、8月から月に1回、梓川公民館を会場に午後1時30分から開催しています。今年度は、12月1日(木)、1月12日(木)、2月2日(木)に開催します。昼下がりの公民館で、参加者同士の交流を深めながら、楽しく歌ってみませんか。歌の経験や技量は問いません。どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。

